

一瞬で

人の心を

相手の「本音」がわかる占い師のテクニック



ムーン・フェアリー・ヒロコ

パッと見はすべて正しい!



内に隠れた性格・性質・生き方・考え方・気分はここでわかる



まえがき

占い師は、目の前に座った人の心を一瞬で読むことができます。

それは、「見るポイント」と「それが意味すること」を知っているからです。

逆にいえば、その「見方」さえ知っていれば「黙って座ればピタリと当たる」は誰にでもできます。

この本では、古来からの「人相・手相術」にもとづく知恵と、私の約20年間におよぶ1万3000人以上の方との対人鑑定から導き出された、人間観察ポイントを書きました。

この本に書かれていることを完全にマスターし実践する人がいたら、私は失業してしまうでしょう。

見た目のことを「相」といいます。

この本は、まるごと「人の相」を見る本です。

「物心一如」という言葉がありますが、性格や考えていること、人間性などは、あらゆる

る相に出ます。つまり、顔かたちには人のすべてが出るのです。

「人間、見た目で判断してはいけない」といわれますが、外見にはやはり、その人の「本質」が表われます。「見た目」は相手を雄弁に物語るのです。

最近「人を理解するのが苦手」「他人がわからない」という人が増えていきます。匿名性のあるネット社会でのコミュニケーションは取れても、個人が人格を持った者同士として接するのは苦手意識があるのでしょうか。

こういう人にとって、初対面の人を対象とする占い師の人間観察法は役立つと思います。また、「一瞬」で相手を読み取る能力は、忙しい現代人にとっても、最速で情報処理をする方法として有用でしょう。

ただ、私自身は普段、これらは無意識のうちに一瞬で行なっているので、それを意識化し、言語化、文章化することは、たいへん難しく、骨の折れる作業でした。

実際の占い鑑定は、



①直観（相）

← ②検証（占星術、タロットなどのデータによる占い）

← ③直観（総合的に判断）

という一連の作業を通して行ないます。この本では①の「直観」までの部分を詳細に解説し、その秘訣を公開しました。

直観とは、ダイレクトに相手を感じ取り本質を見抜くこと。会話をする前に得られる情報、具体的には五感とシンボル（色と形と数など）による情報すべてを瞬間的に見て判断する方法です。

占いは奥深いものです。しかし基本の考えはとてもシンプルで、「類は類を呼ぶ」と「部分は全体を表わす」という原則で成り立っています。

まず、特徴的な手がかりを1つ見つけること。できれば2つか3つのポイントを瞬時に見つけることができれば、かなり人の心を読み解くことができるでしょう。

なお、人相では「目を見て5割占う」といわれています。しかし、シャイでなかなか人の顔（目）を見ることのできない人（私もふくめて）も日本人には多いので、顔以外の部分情報もたくさん盛り込ませていただきました。

また、人間は変わりゆくものですから、この本の内容がこれから先も常に絶対的、固定的というわけではありません。それに、人の見た目は「いまの性格」や「いまの状況」を表わしているので、心の状態や生活の変化に応じて変化します。その点を踏まえて、愛情と共感を持って人を見てくださいね。

相手がどういう人物かを知ることができれば、相手に合わせた適切な対応をすることができます。すると、相手に配慮する気持ちのゆとりが生まれ、豊かな人間関係を築くことへとつながります。どうぞ、この本を人間関係学の参考として、日常生活や交友関係に役立ててください。

2010年7月

ムーン・フェアリー・ヒロコ

一瞬で人の心を読むアンケート

かっく



第1章 まずは基本的な性格・性質を見抜いてみましょう

好きな音楽でおよその性格と抱えている欲求がわかる

16

いろいろなところが四角い人は几帳面

19

感受性が豊かな人は体のどこかが「とがって」いる

22

気が小さい人は見た目にも小さいところがある

25

神経質な人はいろいろ細いところがある

28

本当に精神的な人は水晶のブレスレットをしない

31



「孤独の相」は眉毛に表われる

頭がいい人は眉目秀麗

靴と体と集中力の関係

持っているお財布を見ればその人の金銭感覚がわかる

金運の良い顔・悪い顔

手の色艶・質感でこれだけわかる



第2章

身につけているもので

「なりたい自分・理想の生き方」がわかります

ポケットには「手に入れたい夢」が詰まってる

54

メガネには「なりたい自分」が表われる

57

飼っているペットに「なりたい性格」が表われる

60

爪のかたち「生き方や性格」が表われる

63

体のどこにアクセサリーをつけるかで「欲しい力」がわかる

67

履いている靴の材質で「その人の生き方」がわかる

70

鞆が表わす深層心理

73



帽子のつばは「主張」の象徴

盛りヘアは「盛り上げたい気持ち」の表われ



第3章 前へ進もうとする力強さはこんなところに表われます

「情熱」のある人は目に炎がある

84

「積極性」のある人はエネルギーが前面に集中している

87

手の出し方で「冒険心」のあるなしがわかる

90

「好奇心」が強い人は2つある器官が活発に動く

93

ぜいたくな人はいろいろなところが大きい

96

小さな手は「クリエイティビティ」の証

99

素足が好きな人には「野性的なたくましさ」がある

102

「上がり調子」のときを見逃さないで

104



第4章

「安心してつきあえる人・できればかわりたくない人」
を見分けましょう

一緒に仕事しやすい人を見つけない

誠実な人は見た目もまっすぐ

包容力がある人は姿勢がオープン

明るい人は丸くて軽やか

優しい人は声が穏やか

人差し指の長い人は「先生」タイプ

こちらに好意のある人は目も体も開いてる

こちらに敵意がある人は「防御」している

強引な人は見た目や数で圧倒しようとする

短気な人は呼吸が短い

がんこな人はあちこち固い

優柔不断かどうかは目線に表われる

お酒に飲まれやすいかどうかを人相で観る

心に二面性がある人は見た目にも二面性がある

嘘をつく人を見抜くのはなかなか難しい



第5章 知りたい！ 気になるあの人のLOVE&SEX

鼻と顎が上がっている女性は自分を美人だと思っている

女性の「恋したい」サインはここに表われる

長く濃いまつげの女性は恋愛に貪欲

残念！ こういう女性には彼氏がいます

性欲の強さは目と口を中心に見る

浮気的な人の手相と人相

家庭のあるなしは眉で判断する

第6章 手遅れになる前に心と体のケアをしましょう

健康かどうかはまず口元を見る

180

精神的な疲れは目と手に出る

183

人相で観る病気の兆候

186

カバーデザイン ◆◆富澤崇 (EBranch)
カバースタイル ◆◆鹿沼芽久美 (バースツウ)
本文イラスト ◆◆武井巖 (MOVE)

第1章

まずは基本的な性格・性質を 見抜いてみましょう





好きな音楽で おおよその性格と抱えている欲求がわかる

どういう音楽を好んで聴いているかで、その人の性格がわかります。また、どのような欲求を抱えているかもわかります。

歌謡曲や演歌を好んで聴く人は、情緒的で義理人情を重んじる人です。現状のあつさりした人との付き合いに物足りなさを感じていて、もっと濃密な人間関係を望んでいます。

Jポップなどのポピュラーミュージックを好む人は、あまり難解で複雑なことを好まないことが多いです。日常のストレスを気軽に発散させたいタイプです。

激しいロックを好んで聴く人は、気分の上がり下がりが激しく、情熱的な人でしょう。既成の枠にはまりたくないタイプです。体力・気力がありません。そのはけ口を求めています。



クラシックを好む人は、知的な人か、自分を高尚に見せたい人です。クラシックには長い曲が多いことから、それを最後まで聴ける忍耐強い性格といえます。そして、自分の世界に入り込んで、ひとりで集中したいと思っています。

ワールドミュージック（カンツォーネやシャンソンを含む）を好んで聴く人は、ありのままの自分を大切にしたいタイプです。日常生活で抑圧されている部分が多く、その重圧を押しのかたいと思っています。

ジャズを好む人は、自由で気楽な心の持ち主です。人とは違う自分を大切にする、

こだわりのあるタイプです。自分の個性や独自性をもっと表現したいと思っっている人が多いです。

テクノサウンドを好む人は、現代的なセンスの持ち主です。感情よりも知性や合理性を重んじるタイプで、人間関係のしがらみには縛られたくないと思っっています。

ヒーリングミュージックを好んで聴く人は、誰かに甘えたり、癒されたいタイプです。静かに流れるような音楽を聴くとリラククスできます。それを好むということは、普段から疲れを溜めていることの表われです。聴きやすく受け入れやすい音楽で疲れやストレスを発散し、自分を解放したいと思っっています。



いろいろなところが四角い人は几帳面

几帳面な人は、どこかに「四角い」印象があります。四角四面な人という表現がありますが、実際に四角いところがあるので。

ぱっと見て顔のかたちが四角い人は几帳面です。頼まれた仕事はきちんとこなし、身の回りを整然とさせることが好きな人です。

かくびたい
角額（額の縁が直線で角張っている）の人は実務的で、きちんと仕事をこなします。

爪のかたちが四角形だったり、ネイルなどで四角く整えている人も几帳面です。また、爪を短く四角に切りそろえる人は、きちんとするのが好きな人です。

バッグなども四角いものを好みます。もちろんジッパーなどを開けっぱなしにしたりせず、きちんと最後まで締めています。

筆入れも四角、書類を持つときも角をそろえて持ちます。はしばしがきちんとしていないと気がすまないのでしょうか。

衣装や動作なども、スキがなく整っています。

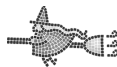
几帳面な女性は、台形やボックス型のスカートを好みます。

丸くふんわりとしたスカートは女性らしさを感じさせますが、四角いスカートは女性らしさを保ちつつもきちんとした感じを与えます。スカート丈も長すぎず短すぎず、膝丈ぐらいで、いちばんオーソドックスなものを履いています。

座るときは足を閉じてきちんと座り、歩くときは前方を向いてまっすぐに歩きます。きよろきよろとよそ見などしません。

四角は、この世を構成する四大元素（火・地・風・水）のひとつである大地を象徴し、物質・基礎を意味します。そして大地は、現実人間が生活する土台となる場所です。

ですから四角が好きな人は現実的であり、実利的なのです。



また、数字の4は安定・固定を意味します。だからか、4という数字が好きなのも几帳面なところがあります。とくに意識していなくても、どういうわけかモノを4つ買ってしまつとか、筆箱に入れた筆記用具がいつも4本などという人もおなじです。

几帳面な人は、毎日のスケジュールもきちんと決まっています、ルーティンワークも大好きです。その性格とともに行動もきちんとしていて、乱れたところやいい加減なところがありません。デスクの上もピシッとされていて、書類などの乱れもありません。約束を決して破らない誠実な人なので、なにか頼みごとをしても、安心してまかせられます。

しかし、これは不安の裏返しともいえます。そうしないではいられない神経質な面があるのです。自分が決めたとおりにことが運ばないと不安になり、臨機応変とか、融通を利かせるといったことが苦手な面があります。

それでも彼らは、仕事を大量に抱えているときの手助けとなる人であり、乱雑になつてしまった仕事に秩序を取り戻したいときの良い「見本」となる人たちです。彼らの行動様式を見習うことで、仕事への本来の取り組み方を思い出せるでしょう。



感受性が豊かな人は体のどこかが「とがって」いる

感受性の豊かな人は、五感からの情報を受け止める器官が発達しています。

具体的にいうと、目（視覚）、鼻（嗅覚）、口（味覚）、耳（聴覚）の「大きい」人は感受する能力の高い人です。

とくに目が大きくて潤うるんでいる人や、あちこちきよろきよろと見て目を活発に動かしている人は、感受性の豊かな人です。

潤うるんでいたり動き回る目は、外界からの刺激に敏感に反応している証拠です。

また、外界の情報を察知するセンサーは人間の先端部分（頭、手足など）に集中しているので、感受性の豊かな人は、これらの部分が非常に発達しています。

たとえば鼻も、大きいだけでなく、鼻先がつんととがっていたりします。とがった鼻を持つ人は、知的で鋭敏、官能的で、性感も発達しています。



五感のひとつである触覚を司る器官として重要な役割を果たす手にも、特徴が出ます。

感受性が豊かな人は、指先が長く、とがっています。そして、指先をよく動かします。指先からあらゆる情報をつかみ取りたいという意識が自然と表われるのです。

身につけるものなどにも傾向が見えます。たとえば靴も、先のとがったかたちのもを好んで履く人は、感受能力に優れていることを暗に示しています。

髪は、外界からの情報を受け止めるセンサーとしての役割を果たします。

髪を長く伸ばしている人ほど感受性が鋭く、芸術的な素質があります。受けたインスピレーションを個性的に表現することを好みます。

それに対し髪を短めに刈っている人は、どちらかという実利的で、情報を自分で取捨選択し、決断実行する能力のある人です。

髪を長く伸ばしていることの多い女性のほうが概して感情的であり、髪を短くしていることの多い男性のほうが概して現実的であるのも、髪の長さの違いによると考えることができます。

ところで最近、つんつんと立たせた髪型をしている男性をよく見かけます。アンテナのようにとがらせたこの髪型は、情報を活発にキャッチする態勢であることを示します。

一方で髪には「俗世間とのしがらみ」という意味もあります。そのため、僧侶や尼僧などは髪を剃り落とすことでしがらみを断ち、自分の我欲をなくします。そうすることで、天とまっすぐにつながっていることを示しています。

感受性の豊かな人には、他人に共感できる優しさがあります。他人の感情や思考を受け入れることができます。しかし、いつもアンテナやセンサーが全開だと、不要な情報まで受信して、疲れてしまうこともあります。

髪型を変えることで、感受性のスイッチを意識的にオンにしたりオフにしたりして、自分でコントロールするとういでしょう。

たとえば髪の長い人は、ひとつにまとめたり結んだりして髪をコンパクトにまとめると、感受性の強さをコントロールできます。



気が小さい人は見た目にも小さいところがある

気が小さい人は、自己をあまり強く主張しません。

歩いている姿勢も猫背気味で、前屈姿勢を取り、身を縮めるようにしていて、どことなく「萎縮」しているように見えます。

力をあまり外に出さないようにしているためか、内股で、小さな歩幅で歩いていることもあります。足音も立てずに道の端を歩いたりします。

外見上にも、どこか小さくなっている部分があります。

顔のかたちが逆三角形（顎あごが小さい）の人は、気が小さいことが多いです。

下顎がひっこんでいると、神経質で消極的な面があります。

目が小さい人は、消極的な人です。

細すぎる目の人は、いろいろなことを考えすぎる性格で、気苦労が絶えません。

小さくて低い鼻の持ち主は、自分に自信がありません。

鼻が柔らかく見える人は、活気が足りません。

口が小さい人は、小心です。

ひっこんだ口の人は、内向的でおとなしい性格で、自己を強く主張しません。

上唇より下唇がひっこんでいる人は、自己主張をあまりしません。

歯は発音や会話に影響することから、コミュニケーション能力の有無を示します。

歯の小さい人は、自己表現が不得意です。

ひっこんだ歯の持ち主は引つ込み思案で、人づきあいが苦手です。

横から見て額の部分がへこんで見える人は、内気で消極的な性格です。

頬骨^{ほぼ}が出ていない人は、意志が弱く、行動する意欲がありません。



髪の毛の柔らかい人はデリケートで情感豊かですが、控え目で内気なところがあります。

気の小さい人は、「衝突」をできるだけ避けて、弱みを見せないようにしています。身を固くして「守り」の姿勢に入っています。こうして自分の存在感を消しているのです。

また、過剰反応ともいえるほど、人間に対して恐怖心のある人もいます。バッグなどを持っていて、ぎゅつと小脇に抱え込んで、身から離しません。盗られる心配がなくても、他人に対する警戒を怠らないようにしています。

気が小さい人は呼吸音も静かで、息を詰めていて、胸いっぱい空気を吸い込んでいないことがあります。この呼吸法がいつそう、気を小さくしているともいえます。

健康法に「長息法」というものがあります。息を静かにたくさん吸い込んで、静かに長く吐く呼吸法のことです。こうすると体の新陳代謝を活発にすることができ、精神も安定してきて、おおらかな気分になります。

気を大きくしたい方は、長息法をやってごらんになることをおすすめします。



神経質な人はいろいろ細いところがある

神経質な人は、全体的に「細い」印象があり、痩せている人が多いようです。

人相では、顔が逆三角形で、顎あごがとがっている人は神経質です。

鼻も、全体のかたちが細く、小鼻にも張りがありません。

眉まゆは感情を表わしますが、交錯眉（眉毛の毛並みが交錯している）の人は気難しいところがあり、人と打ち解けるのが不得意な性格だといわれます。

眉間も狭く、眉根を寄せて、いつもなにか考えているようです。

眉間に縦にしわがよっている人は、思慮深いのですが、人間関係に問題があることがあります。人を受け入れる度量が少なく、感情的だといわれています。

私がいちばん注目するのは手です。私が占った経験では、手先に神経質な特徴が表われます。手先、とくに指がとがっている人は、神経の細かいタイプです。



また、白くて細い手の人は繊細です。男性でこういう手の人は、ほとんどといっていいほど神経質な面があります。

手相では、線の多い人は、頭を過度に使っていると判断して間違いありません。

とくに神経質な人は、線が縦横に走っていて複雑にからみあった、いわゆる「芸術家の手相」をしています。

行動の特徴として、ひんばんに手を洗いハンカチでふくなど、手を異常にきれいにする人もいます。

また、儀式的な習慣をもっていることもあります。

「スヌーピー」のマンガに出てくる、いつも毛布を手放さない男の子・ライナスのように、ハンカチやライターなどをいつも手に握っている人もいます。

「これがないと安心できない」というグッズを持っていたり、机の上の書類や筆記用具などが決まった場所がないと仕事に取りかかれない人もいます。

神経質な人は、繊細な面があり、感受性も豊かです。頭がよく、芸術家的素質があります。ときにそれが行き過ぎて、神経過敏になることがあります。ちょっとしたことが気になり、情緒が不安定になったり、快・不快の感情に支配されやすかったり……。

なにに神経質になっているのかを他人が「これだ」と特定するのは難しいでしょう。言葉や行動に関してだったり、肉体的な清潔さに関してだったり、人によってかなり違うからです。

そして、内向的でイライラしやすい面も見られます。ひとつのことにこだわり、見方を變えるのが下手だったり、次に進むことが不得意だったり、楽観的に生きるのが苦手だったりもします。おおらかな性格ではないので、多くの人にとっては些細なことでも「まあいいじゃないか」と水に流すことができません。

こういうタイプの人と付き合うのは骨が折れます。しかし、鋭敏な感覚とこだわり抜いたモノの見方は、斬新な発想とユニークな視点をもたらしてくれることもあります。



本当に精神的な人は水晶のブレスレットをしない

精神世界に関心をもつ人は、水晶や半貴石などのパワーストーンを身につけていることが多くあります。とくに男性でブレスレットやネックレス、指輪などに水晶やラピスラズリなどの半貴石を身につけている人は、精神世界に興味があるといっているでしょう。

パワーストーンは、魔除け・お守りとして身につけている人もいるでしょうが、一方で「彼氏が欲しい」「お金が欲しい」「宝くじに当たる」といった、さまざまな願望の実現を願ってつける人も多くいます。精神世界を重視するように見えて、実は心の奥底では人間世界に非常に執着があり、幸せになりたい、能力をアップしたい、悟りたいといった「欲」が強いのです。

とくにアクセサリにもなるブレスレットは、人とは違うということを印象づけたい、目立ちたいという強い自意識の表われともいえます。

そうではなく、本当に「精神的な人」は、まず「音がしない」印象があります。

だまつていることが多く、あまりしゃべりません。

深く自分の内側に沈潜してものを考えるタイプで、会話よりも思索を好みます。言葉や態度であまり外側に表現しません。あまり自分の知識をひけらかすこともありません。

呼吸も静かです。足音もせず、まるで仙人のように歩きます。

また、体が全体的に細く、整っている印象があります。

指先が細くとがっています。

人相では目に精神性が表われますが、精神的な人は切れ長で美しい瞳をしています。

奥目の人は、ものごとをあからさまにしない、慎み深い人です。

目自体もあまり大きくありません。

眉毛まゆは太くもなく細くもなく、流れも整っています。



鼻は細めですが、鼻筋は通っています。

金銭欲に結びつく小鼻が張り出したりしていることもありませぬ。

口もかたちが整っていて、小さめです。まるで、中に取り入れるものを選別しているようです。口を大きく動かすこともあまりしません。

着ているものの色は黒やグレーなど、モノトーンが多いようです。黒白の濃淡はモノクロ写真や墨絵の世界のように、静謐せいひつさや思索を感じさせます。

ひとりで行動していることが多く、この世の塵ちりや芥あぐたにまみれるのを避けるかのように生きています。生命力が枯渇しているわけではなく、細く長く生きていこうとしているように見えます。生きる道筋や選択肢が狭く限定されているようです。

本当に精神的な人は、この世の欲望路線とは一線を画しているように見えます。

しかし、一見そう見えても水晶のブレスレットをしているならば、人間的な、あまりにも人間的な「欲」のある人だとわかるのです。



「孤独の相」は眉毛に表われる

孤独な人は、ぎゅっと凝り固まっているように見えます。体の内側にエネルギーが向かうような「求心力」があり、力が内側に集中します。自分だけに意識や関心があるようにも見えます。

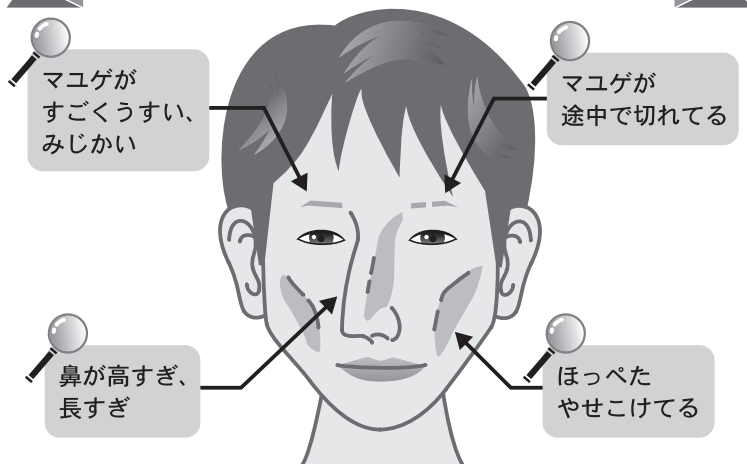
歩くときは、首を縮め、肩を前に落とし、両手もわきに寄せ、内股で歩きます。こうすると自然に視線が落ちるので、寂しい印象を受けることもあります。

人相では、孤独の相は眉毛まゆに表われます。眉は人間関係を表わすので、眉毛が短かったり、極端に少なかったり、途中で途切れている人は、孤独なことが多いです。

また、頬ほは生活力や社会適応力を示しますが、頬の肉が痩せている人は意志が弱く、押しが弱いことから、孤独になりやすい相といえます。



めっちゃ孤独な顔



鼻が高すぎたり長すぎたりする人は、理想が高い人です。それはそれでよいのですが、自尊心が強すぎて「唯我独尊的」となり、孤立しやすい性格です。

ペットが好きな人や、ペットを飼っている人も、孤独な人が多いようです。

ペットを可愛がる人は、人間対人間の「言葉」による対話ではなく、スキンシップや、一方的な対話（人間側から動物側）を求めていることがあります。自己表現や、他人に対して強い自己主張をすることが苦手なのでしよう。

人に愛されたいのに、人を寄せ付けない

壁のようなものを感じることもあります。人を信じて裏切られた経験が過去にあるのかも
しれません。人に対して心を開けないため、動物に心を開き、親密な関係を結んでいるの
でしょう。

もちろん、孤独が好きで、積極的に孤独を愛する人もいます。

この情報化時代に「携帯」を持っていない人は、孤独を愛する人と考えてよいでしょう。
携帯は、人とのつながりを感じさせるツールです。携帯を持たない人は、人とのコミュ
ニケーションをあまり持ちたくない人ともいえます。

こういう人は一見、人間的なふれあいを一切遮断しているように見えますが、実は通り
一遍の人間関係ではなく、より深い親密な関係を求めていることもあります。

反対に、いつも携帯に手を伸ばし、メールの着信を気にしている人は、孤独に弱い、ひ
とりぼっちが嫌いな人といえます。



頭がいい人は眉目秀麗

頭がいい人は、全体的に整って美しく見えます。人相においても、すべての顔のパーツが大きくもなく小さくもなく、バランスが取れています。

とくに「眉目秀麗」な人は、頭がいい人です。

「眉目秀麗」とは顔かたちが整っていること。顔の中で、とくに眉と目が麗しく秀でています。

広くて艶やかな額は、頭の良さや運の強さを表わします。

発達した広い額は聡明なことを示します。しかし額が広すぎる人は頭の回転が速すぎて、他者のやるが遅く見え、物足りなく感じるかもしれません。

髪の毛の生え際がM字の額を持つ人は、理的で、感性豊かであり、独創力があります。

眉骨（眉の生えている部分）が発達している人には文才があります。ちなみに、眉の上の部分が普段より色艶よく光ってきたときは、あなたの企画が通るしるしです。

頭がいい人は総じて、切れ長で涼しい目、澄んだ瞳をしています。視線が落ち着いているのは意思の強さを表わします。また、なにかを見るときは大きな目を見開いて、なんでも見てやろうとします。こういうとき、目の光が明るく、いきいきとしています。

「目から鼻に抜ける」という表現がありますが、目が澄んでいて鼻筋が通っている人は、情報を取り入れることと、それを表現することの、両方ができるタイプです。

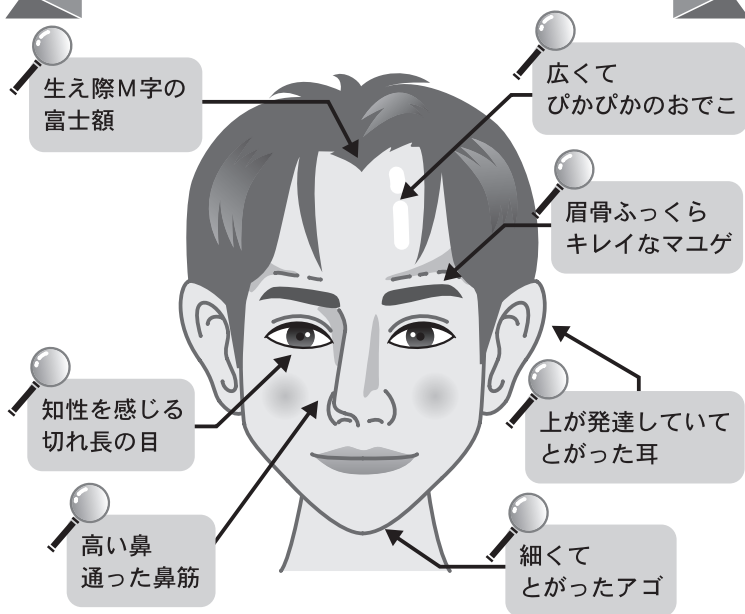
鼻は自分自身を示します。鼻が高い人は、優秀な頭脳の持ち主です。

耳の上部が発達している人は、知的な人です。また、とがった耳の持ち主は、頭の回転が速いことを示します。

整った口元は、安定した感情や教養の高さを表わします。ぽかんと開いていたりせず、



これが頭のいい人の顔だ!



きちんと閉じられています。

逆三角形の顔（顎あごが細い）の人は、頭脳明晰で理知的です。顎がとがっていて鋭角的なかたちの人は、勘もよく、頭のよいタイプです。

手先でも頭の良し悪しがわかります。

指先がとがっている人は理解力の速いタイプです。

指先を細かく動かすことができる人は、頭を活発に働かせることができます。

また、筆記用具をぱっと取り出す人、それも使い勝手のよいものを持っている人は、頭がいい人です。知的な作業に筆記用具はつきものだからです。

「頭がいい」というのは、学校の勉強ができるだけではなく、総合力がある人のことです。座って学習するだけでなく、それを実際に役立てられます。

頭だけでなく、手足も使い、生きた知識が使えて、インプットとアウトプットの両方ができる——、こういう人は、問題をみつけるだけでなく、それを解決する能力もあります。

外見が美しい人には頭脳明晰な人が多いというのは、いままで占い鑑定をしてきた私の経験からいえます。これは生まれつきの顔かたちの美しさよりも、後天的につくりあげられた美しさに基づくものだと思います。

人間の顔かたちは、その人の生き方や考え方で変えることができます。あなたも美しく頭の良い人になりましょう。



＊ 靴と体と集中力の関係

体と靴かばんの距離は、肉体と魂の距離を示しています。靴は、その人の魂の置き場所だと考えてよいのです。ですので、体に近いほど肉体と魂が近接し、遠いほど遊離しています。つまり、靴との距離が近いほど意識が集中している状態であり、遠いほど意識の集中が途切れている状態を示します。

クラッチバッグのように、しっかりと小脇にかかえるタイプの靴を持つ人は注意力があり、意識が集中しています。きっと中には重要なものが入っているのでしょう。こういう靴を好む人は、とても慎重で、しっかりと持っているタイプです。


ポストン型、手提げ型などを握り手で持つ人も、意識がはっきりして、頭脳明晰なタイプが多いです。でも握り手の部分はうっかり離れてしまうこともあるので、ときどき注意が途切れるタイプともいえます。

肩から下げるショルダーバッグ型は、魂をぶら下げていることを暗に示します。こういうタイプのバッグを持つ人は、肉体から鞆がやや離れていることから、少しスキのある性格といえます。ただし肩ひもを「斜めがけ」にする人は、ちよつとやそつとでは他人が引きはがすことができないことから、用意周到で慎重な性格であることを示します。

カートつきのバッグを引いている人は、魂が後からついてきていることを示しています。鞆と体はかなり離れているので、肉体と魂の距離もかなりあります。意識がぼーつとしていて、注意がそれている状態でしょう。もし、この中にお財布やカード類など重要なものを入れているとしたら、ちよつと注意力に乏しい人といえます。

ところで、サーカスのピエロはなぜ、いつも風船を持っているかご存じですか？

ピエロの持ち物である風船は、外に出た彼の魂を表わしています。風船はひもで結ばれています、体から離れた場所にあります。これは、ピエロの魂が身体から抜け出て、ふわふわと空中に浮かんでいる状態を示しているのです。だからピエロはいつも「心ここにあらず」といった感じの、泣き笑いの表情をしているのです。



持っているお財布を見ればその人の金銭感覚がわかる

持っているお財布で、その人の金銭感覚がわかります。それと同時に、愛情をどのように考えているのかもわかります。お財布は「お金」の入れ物でもあると同時に「愛情」の入れ物でもあります。お財布のかたちで、お金に対する考えだけでなく、愛情の表現方法（愛し方、愛され方）もわかるのです。

長方形のタイプを持つ人は堅実な金銭感覚の持ち主です。紙幣を折らずに整然と入れられることから、社会常識や形式を大切にしたい人といえます。穏やかで誠実な愛情をそそぐタイプで、愛情をかたち（現金、もの、言葉）とともにきちんと示します。

正方形のお財布を持つ人は現実的で、合理的です。四角四面という言葉のとおり、きちんとしている人で、お金の管理もしっかりとできます。愛情面では、与えた愛情とおなじだけの愛情をしっかりと受け取りたい人でしょう。

円形に近い財布を持つ人はバランス感覚があり、調和の取れた金銭感覚の持ち主です。お金があってもなくてもそれなりに、うまく切り盛りができるタイプです。丸い形は円満な人柄を表わし、豊かな愛情を相手にそそぐとともに、素直に愛情を受け取ります。

おなじ丸いかたちでも、ぱちんと口金がついていて、ふくらみのある、がま口タイプのものを持っている人はどうでしょうか。

この財布は、見た目よりたくさんお金が入ることから、一見可愛らしいけれど、つかんだものはなささない、がちりした人といえるでしょう。お金をしっかりと握りたいタイプです。愛情面では、愛するよりも愛されたいタイプです。

なお、財布を2つ、札入れと小銭入れを別々に持っている人は、きつちりと区別けをするのが好きな人です。あるべき場所に、あるべきものが、きちんと収まっていることを好みます。お金を取り出す方法としては、いちばんカッコよく、スマートかもしれませぬ。こういう人は恋愛も、美しく素敵であることを求めています。



また、持っているお財布の色で、お金の使い方がわかります。

停止を意味する黒のお財布を持つ人は、金銭に細かく、堅実なタイプです。

茶色は大地の色であり、豊穡を意味します。この色のお財布を持つ人は蓄財に励みますが、人情味もあるので、出すべきときには出すタイプです。

青いお財布を持つ人は節約家、紫は節度を持って貯蓄したいタイプ、白いお財布を持つ人は今後の金運に期待が持てるタイプです。

散財傾向の色としては、黄色のお財布を持つ人は割合派手にお金を使いたいタイプです。赤を持つ人は浪費傾向があります。

ピンクのお財布を持つ人は、人間関係にはお金を惜しみなく使いたいタイプです。

緑のお財布を持つ人は「お金は自然とついてくる、最終的に帳尻が合えばよい」と成り行きまかせのタイプであることを示しています。



金運の良い顔・悪い顔

金運のよさを見抜く2大ポイントは、

- ① 顔全体の色艶いろつやがよく、つやつやとして光り輝いていること。
- ② 目に力があつて、きらきらと光り輝いていること。

このふたつを見てから、顔の各部を見て判断します。上から順番に見ていきましょう。

眉まゆの上（眉尻から3分の2の部分）の肉付きがいい人は、大金を動かす才能があるといわれています。とくに、額ひたいの色艶がよくピンク色をしていて、この付近の眉毛が何本か立っていると、大金をつかむ相となります。眉毛は毎日変化する部分なので、よく見てみてください。

耳は「金倉」です。耳たぶがふっくらとして色艶がいいと、お金の縁があり、福運に恵



まれるといわれています。耳たぶが大きくて豊かな「福耳」だと、たくさんのお金を貯めることができます。そのうえで耳の穴が小さいと、お金の細かい儉約家となります。

鼻は「お財布」を表わし、ここに金運のよさが表われます。大きくて立派な鼻は、財産形成のパワーがあり、経済的に恵まれることを示しています。また小鼻はお金を扱う能力を示し、金運のよい人は鼻筋がまっすぐで、小鼻に張りがあります。

逆に、鼻と鼻の穴の小さい人は、散財しない性格です。大金を動かすことはないのですが、コツコツと貯めることができます。このとき、鼻先が下に垂れ下がっていると、「人生、お金がすべて」と考えるタイプになります。

人中（鼻の下の溝）がしっかりと刻まれ、長い人は、鼻（お財布）と口（生活）の流通がスムーズな人です。計画的に貯蓄し、上手に消費することができます。

口は生活力や本能のコントロールを示します。口が大きく、締まっている人は、生活力が旺盛で、つかんだお金をしっかりと動かす能力があります。

上唇の山がはっきりしていると、財産やお金が自然に入ってきます。そのうえ唇の色艶がよく、歯が丈夫な人は、生きたお金を使う人です。

法令線（口の両脇の線）が切れ目のない人は、仕事に熱心です。法令線が張っている人は、バリバリ仕事をこなして財産をなします。

また、金運が上昇していることを表わす相があります。

顔全体の色艶がよく、眉間が広がり明るく光り輝いてくるのは金運がよくなる前兆です。

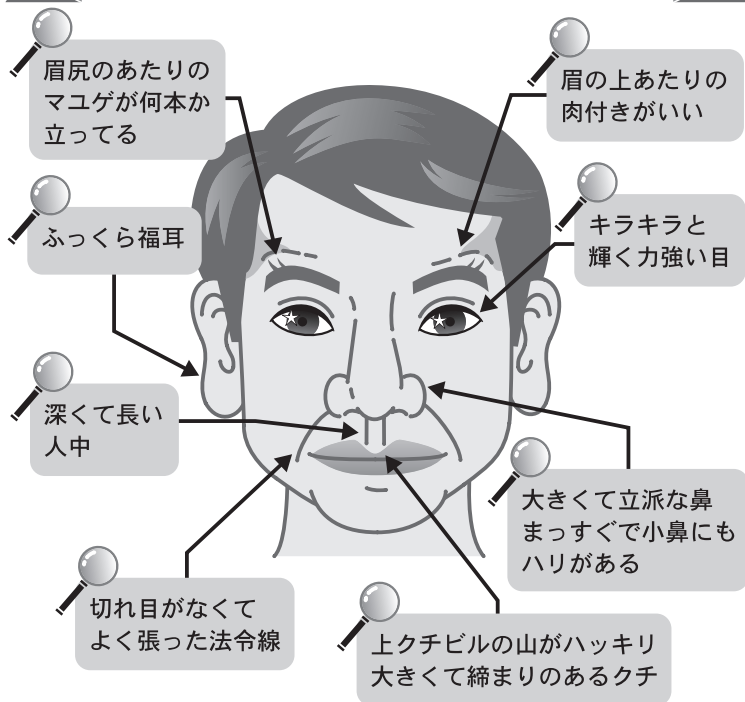
鼻、耳、口、人中、眉の上（眉尻から3分の2の部分）の色がピンク色をしてくると、臨時収入が見込まれます。

逆に注意したいのが、お金を散財する相です。

鼻の頭は現在の金運を示し、小鼻は貯蓄の状態を表わします。ここに欠点（赤い筋、赤い色、赤い点）があると、お金に困っている相となります。とくに鼻が常に赤い人は「財産破滅の相」といわれ、お金を散財する傾向があります。



金運のいい顔を探せ





手の色艶・質感でこれだけわかる

手の色艶いろつやを注意して見ると、人によって、またその時々によって、かなり違うことがわかります。生命線、知能線といった手の線に関する知識がなくても、色艶や握ったときの感触などからわかることがたくさんあります。

手の色艶がいい人は、順調なものごとが進んでいて、運勢が上昇しています。愛情に満たされ、安定した精神状態です。

手の甲側の血色がよくピンク色をしているのは、心身の健康状態や運勢が良いことを示しています。

手の色が白い人は感受性が豊かで、芸術的な資質の持ち主です。

手の色が黒っぽい人は、根性・努力の人で、実利的な資質の持ち主です。



色で病気がわかることもあります。

全体的に赤くて血色がよすぎる人は、心臓に問題がある場合があります。

手の小指の下側が紫色っぽいと、肝臓に問題があることがあります。

手が全体的に灰色っぽい色をしている人は、タバコを吸い過ぎている傾向があります。

また、タバコを持つ指先の爪の部分が黄色っぽく変色している人もいるので、ここでもわかります。

次は握手などをしたときの感触です。

肉付きがよく弾力のある手の持ち主は生活力があり、愛情豊かで、体力・気力とも充実しています。

逆に手の肉付きが悪い人は生活力が乏しく、愛情面が薄く、運勢面で低下しています。

また、手の肉付きはよくても弾力がない場合は、愛情は濃いのですが運勢面で弱い部分があります。

手のきめの細かい人は感受性が鋭く、神経質なところがあります。逆にきめの粗い人は感受性に乏しく、荒っぽいところがあります。

握った手がさらっと乾いていて、かつ適度の潤いがあるときは、体調がよく、運勢も良好でしょう。

ただし血色が悪いときは、疲れていたり、運勢が低下しています。

手が脂ぎっているときは過労気味で、神経が疲れている状態です。

常に湿っていると、肝臓や脾臓ひが弱っていることがあります。

このように、手の質感でも運勢が良いかどうかはわかりますが、夏は汗ばんだり、冬は乾燥したりというように、季節によって質感にも違いがあるので、そこは注意をする必要があります。

手は、その人自身の象徴です。私は、手相を見つつクライアントの方の手に触れることで、その日その時の、その人の状態や運勢がおおよそわかります。



ムーン・フェアリー・ヒロコ

西洋占術研究家。京都出身、音大ピアノ科卒。占い歴20年。出会った人は13000人を超え、その明るく親しみやすい人柄を慕うファンも多い。占星術、タロットなどを駆使してのわかりやすくて確かな占いは定評がある。「日本と日本人を元気にしたい」との願いのもとに日々鑑定・執筆に励む。2010年4月より『銀座・おとな塾』にて「アロマ占星術」講座開催。著書、マスコミ取材等多数。ツイッター (<http://twitter.com/mfhiroko>) にて「占い師の占い師らしくない日常」などもつぶやき中。

ホームページ <http://usida.at.infoseek.co.jp/>
携帯サイト <http://usida.at.infoseek.co.jp/i/>

一瞬で人の心を読むヒント 相手の「本音」がわかる占い師のテクニック

© Moon Fairly Hiroko 2010
2010年 8月10日 初版発行

著者 ムーン・フェアリー・ヒロコ
発行者 鶴野大



発行所 こう書房

〒162-0805 東京都新宿区矢来町112 第2松下ビル
電話 03(3269)0581〈代表〉 FAX 03(3269)0399
e-mail info@kou-shobo.co.jp url <http://www.kou-shobo.co.jp/>

組版・編集■Pensiero! 印刷所■プロスト 製本所■共栄社製本
Printed in Japan 定価はカバーに表示してあります。
ISBN978-4-7696-1033-5 C0030